

事務連絡
平成 25 年 5 月 28 日

各府省庁行政事業レビュー担当官殿

内閣官房行政改革推進本部事務局

行政事業レビュー公開プロセス実施上の留意点について

平素から行政改革推進本部の運営について御協力いただき、厚く感謝申し上げます。
行政事業レビュー公開プロセスについて、各府省におかれては、「行政事業レビュー実施要領」の 5 に掲げる規定のほか、踏まえていただきたい留意点について下記のとおり連絡いたします。

なお、追加すべき留意点があれば、随時ご連絡いたします。

記

1 公開プロセス前の準備

(1) 事前勉強会及び現地ヒアリングの実施等

① 事前勉強会等において、外部有識者に対し、事業の実態及び内容の問題点等の情報を提供しておくこと。特に、公開プロセス対象事業が属する政策・施策の中でその事業がどのような位置づけにあるのかなどが外部有識者にもわかるよう、政策評価書等も活用すること。

また、質疑・議論の時間を無駄にしないよう、事業所管部局はデータの整理等を十分に行っておくこと。

② 限られた時間の中で、有意義な議論を行い、一定の結論を出していくためには、事前に論点を限定（最大 3 つ程度）し、明確化するとともに、その論点が外部有識者間で共有されている必要がある。このため、論点の案を、事前勉強会の際に配布するとともに、外部有識者の問題意識やコメント等を踏まえて修正した上で、公開プロセス前日までに外部有識者に送付しておくこと。また、当該論点は公開プロセス当日までにホームページに公表するとともに、公開プロセスの場で配布すること。

(2) 外部有識者への対応

① 公開プロセスの実施に当たっては、国民の目に見える行政を進めるため、透明性の確保が重要であることから、行政改革推進本部事務局においては、事務局選定の外部有識者に対し、関係法人・業者等利害関係者からの内々の働きかけがある可能性があることを注意喚起し、仮に事案が発生した場合には、事務局へ速やかに連絡するようお願いをする予定である。

各府省においては、以上の趣旨を踏まえ、各府省選定の外部有識者に対し、適宜注意喚起を行っていただくようお願いしたい。

② 外部有識者から資料の提供等の要請があった場合には、誠実かつ迅速に対応する

こと。また、他の外部有識者にも当該資料等を共有するため、そのような要請があった場合には行政改革推進本部事務局に情報提供をすること。

2 公開プロセスの具体的な進め方（別紙「公開プロセスの進め方のイメージ」参照）

(1) 質疑・議論の時間

質疑・議論の時間は、基本的には1コマ（1事業）1時間程度で設定すること。ただし、事業規模や見込まれる議論の内容を踏まえて各府省において適宜の時間の設定をして差支えない。

なお、インターネット中継の実施を踏まえ、事前に各コマのタイムテーブルを設定し、ホームページ等において公表すること。

(2) 事業の概要等の説明

- ① 担当部局からの事業の説明は簡潔に行い、長くても5分程度とすること。
- ② 行政事業レビューシートに即して説明することを基本とし、添付資料は補足資料として使用すること。
- ③ 説明者は、インターネット視聴者にも分かるように、資料のどの部分について説明を行っているのか明確にしながら説明を行うこと。

(3) 質疑・議論

- ① 進行役である各府省の行政事業レビュー推進チームの統括責任者又は副統括責任者は、議論に入る前に、外部有識者に対し、議論すべき個別の論点（1の(1)の②で整理された論点）を明確に提示すること。
- ② 進行役は、次の点に留意して質疑・議論の進行を行うこと。
 - ・ 個別の論点ごとの議論が深まるよう、議論は一問一答形式で進むよう心がけ、当該論点について深堀りができるような質問が続くよう進行を行うこと。
 - ・ 外部有識者の質問に説明者が十分答えていない場合には、再度回答を求め、議論がかみ合うようにすること。
 - ・ 議事の公正な進行に努めること。公開プロセスは外部有識者の意見を取りまとめる場であり、質疑・議論の中で進行役自らが意見を述べることは差し控えること。また、特定の外部有識者が多く発言をすることのないよう、外部有識者に対しバランスよく質問・議論を促すこと。

(4) コメントシートの記入と結果の公表

コメントシートには、「事業全体の抜本的改善」、「事業内容の改善」、「現状通り」等の選択肢を準備するとともに、外部有識者が、改善を検討すべきポイントや事業見直しの方向性等の内容についてコメントを書くことができるよう欄を設けること。

(5) とりまとめ

- ① とりまとめ役の外部有識者は、選択肢の票数の分布、各外部有識者のコメント、質疑及び議論の内容等を総合的に勘案して、評価結果及びとりまとめコメントの案

を提示すること。また、提示した評価結果及びとりまとめコメントの案について、他の外部有識者から意見を求めること。

- ② とりまとめ役は、外部有識者から出された意見を踏まえ、必要に応じ、評価結果及びとりまとめコメント案について修正を加え、最終的な評価結果及びとりまとめコメントを公表すること。
- ③ 評価結果は、外部有識者の評価において最も票数が多い選択肢とすることを基本とするが、票数の分布等に鑑みてそれが適当でない場合には、一致した評価結果を示さず、票数の分布を紹介することとして差し支えない。
- ④ とりまとめコメントに関し外部有識者の意見が一致しない場合には、複数のコメントを併記することとして差し支えないが、その際には、それぞれのコメントが何名の外部有識者の同意を得たものなのかを明らかにすること。

(6) 評価結果及びとりまとめコメントの公表

- ① 公開プロセス結果の公表に当たっては、評価結果及びとりまとめコメントのほか、コメントシートに記載された外部有識者のコメントをできる限り類型ごとに整理した上で公表すること。
- ② 評価結果、とりまとめコメント及び外部有識者のコメントについては、極力当日中に HP 上で公表する等速報性に十分配慮した工夫を行うこと。
- ③ 公開プロセスの結果については、対象事業のレビューシートにおいて、評価結果、とりまとめコメント及び外部有識者のコメントを、外部有識者の所見として、所定の欄に記入すること。

3 その他

- ① インターネット視聴者が、公開プロセスの議論を十分に理解できるよう、当日に外部有識者に配布する資料（参考資料等）は、事前に各府省のホームページに公表すること。
- ② 公開プロセスの終了後も引き続き国民への説明責任と透明性を確保するため、公開プロセスの議事録を公表すること。
- ③ 各府省においては、行政事業レビューについて国民への浸透を図り、一層実効あるものとするため、各府省の政務による記者会見などでの公開プロセスの実施に関する情報発信や、各府省ホームページのトップページへの掲載等、積極的な広報活動を行うこと。

以上

公開プロセスの進め方のイメージ

<基本的な議論の流れ>

事業所管部局による事業説明（最大5分程度）

- ・ 事業所管部局より、レビューシート及び補足資料に基づき、当該事業の要点を説明。

進行役による事業選定の視点及び論点提示（2分程度）

- ・ 進行役より、当該事業を取り上げた視点と、議論すべき論点を説明。

質疑・議論（コメントシートへの記入時間と併せて40分～45分程度）

- ・ 外部有識者から事業所管部局への質問等を通じ、無駄の削減の観点のみならず、より効果の高い事業に見直すとの観点から議論を実施。

外部有識者によるコメントシートへの記入

- ・ 質疑・議論の終了予定時間の10分程度前を目安に、進行役より、外部有識者に対して、コメントシートへの記載を促すアナウンスを実施。
- ・ 外部有識者は、コメントシートに記載された評価の選択肢からいずれかを選択するとともに、コメント欄に、評価の具体的内容やその理由、改善を検討すべきポイントや事業見直しの方向性、特記事項を簡潔に記載（議論しながらの記入も可。）。

とりまとめ役による評決結果及びとりまとめコメント案の発表（3分程度）

- ・ 各外部有識者のコメントシートを行政事業レビュー推進チーム事務局が集計。
- ・ とりまとめ役は、票数の分布及びコメントシートに記載された主なコメントを読み上げた上で、評価結果及びとりまとめコメントの案を提示。

とりまとめコメントに関する議論及びとりまとめ役による最終結果の公表（5分～10分程度）

- ・ とりまとめ役が提示した評価結果及びとりまとめコメントの案に基づき、外部有識者間で議論を実施。
- ・ とりまとめ役は、必要な修正を加えた最終的な評価結果及びとりまとめコメントを公表。外部有識者の意見が一致しない場合は、一致した評価結果及びとりまとめコメントを示さず、票数の紹介及び複数のコメントを併記することも可。